

ほくえい未来トーク 2024～なんちゅう暑いだいな！！なんとかならんかー

第3弾

まちの環境健康診断 in わいわいフェスタ

本日は、すぐそこにある出会いの広場でわいわいフェスタをやっており、大変な賑わいとなっていて、本会場への参加も苦勞されたと思いますが、ご参加いただき感謝申し上げます。

環境にやさしいまち、北栄町として、9基の風車を町で設置し、運営し、発電した電気を売って、その収益でLED防犯灯の整備やエコ活動、省エネ・再エネ活動などを行い、いろいろな環境問題に対し、取り組んでいます。

今回は、環境・地域の抱える問題などについて、安田先生にお話をいただき、また、これまでの本町の取り組み、風車の設置から運営までについて、前町長の松本氏に、また田川先生や岩田先生を含め、北栄町の環境問題に対する健康診断や今後の方向性などについて、リレー形式でお話をいただくよう企画しました。皆さんよろしくお願いします。

今、20年経過しようとしている、北条砂丘風力発電所。私は、令和8年3月の固定価格買取制度、FIT終了時には、採算が合わないとして、撤去の方針を出しました。しかしながら、今年に入って、継続してやってみたいという民間業

者が手を挙げられ、今、取り組みを進めていらっしゃいます。撤去費用は、1 基 1 億円以上と見積もっています。もし、撤去せずに譲渡となれば、現在、撤去のために貯めている基金は、別の事業に活用できます。なんとか、今年度中には結論を出したいと思っています。

また、令和元年には、気候変動が著しい脅威となっていることを“気候非常事態宣言”として、内外に発信し、2050 年までにゼロカーボン社会の実現を目指しているところです。さらに、北栄町では、未来の担う若者が環境問題について、積極的に学び、意見をいただくこととして「環境最高未来責任者、環境 CF0」を令和 5 年度から設置し、現在、中学生 1 人、高校生 6 人、大学生 2 人という若いメンバーで取り組みを進めているところです。これからも町民、みんなで環境問題に取り組んでいきたいと思っています。

本日の会は、“夢グループ”の人氣に負けない内容となっております。本日の会を機にこれからも、環境問題を強く意識した生活を続けていっていただくようお願いし、開会にあたってのあいさつとします。

令和 6 年 10 月 26 日

北栄町長 手嶋俊樹